

増えてしまい、暗闇でも分かるコンサーボトルとうくびれた瓶の形になりました。1923年、ロバート・ウッドラフがザ・コカ・コーラの社長に就き、以後60年間社長としてグローバルに展開しました。

日本では1911年に入って来たのですが個人的に輸入して飲んでいたもので、日本にコカ・コーラの法人が出来たのは1957年になります。初め日本飲料工業(株)から日本コカ・コーラとなりました。200カ国以上に400種類以上の飲料を販売しています。日本では地域別に5つのボトラーで販売しています。

持続可能な利用について

クイズ形式でお話をします。正解の方に記念品を差し上げます。

ペットボトルは1990年代から使われ始めています。

Q:日本のプラスチック製品におけるペットボトルの割合は？(正解・・・約7%)

Q:日本のペットボトルの回収率は？
(正解・・・約94%)

Q:日本のペットボトルのリサイクル率は？
(正解・・・約86%)

欧米と比べても日本のリサイクル率は高いです。

2030年ビジョンについて

SDGsのターゲットとして、3つの大きな柱があります。

①設計・・・ペットボトルをサステナブルな容器に切り替える。

②作ったものと同じ量を回収する

③パートナー、企業、自治体との連携
100%リサイクルペットも既に販売し



ています。これを全部のペットボトルで行おうとしています。またラベルレスという活動に取り入れています。

2018年に東京で調査した結果ですが、自販機脇に置いてあるリサイクルボックスには3割ほどの遺物が混入しています。ゴミ箱ではなくてリサイクルボックスだという意識を持っていただきたいと思います。また、いろいろな自治体と連携をしながら水源地などの清掃活動を行っています。